

科目ナンバリング		U-LAS22 20001 SO48							
授業科目名 <英訳>	フランス語II A F2102 Intermediate French A			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 上田 泰史				
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語及びフランス語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	月3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
<b>[授業の概要・目的]</b>									
<p>「フランス語 IA・IB(文法)」の学習を終えたフランス語学習者、ないしはそれと同程度の文法的知識を持つ学生を対象とします。この授業では、フランス語で書かれた文章を教材として、主に読む・聞く能力を発展させることを目指します。単なる読解に留まらず、音読の練習も含め、フランス語表現の特徴を実践的に学びます。</p> <p>内容については、文化、とくに音楽に関するテキストを中心に扱います。</p>									
<b>[到達目標]</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フランス語による説明文を正確に発音・読解し、内容を理解することができるようになる</li> <li>・発音されるフランス語を正確に書き取ることができるようになる。</li> <li>・西洋音楽史の大まかな流れを理解することができる。</li> </ul>									
<b>[授業計画と内容]</b>									
<p>各回の授業は、テキストの読解・音読で構成されます。使用するテキストは、Hachette社が出している『音楽を発見する』(Découvrir la musique)という中高生向けの音楽史解説書です。受講にあたり、楽譜を読む必要はありません。</p> <p>輪読形式をとるので、ほぼ毎回あたります。また、授業内で、短いディクテーションのexerciceを行うこともあります。</p> <p>第1回から14回にかけて扱うトピック 扱われるテーマ：古代から古典派まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代：エジプト、ギリシャ、ローマ, etc.</li> <li>・中世：初期キリスト教音楽、多声音楽の誕生、フランドル楽派、ジャンル, etc.</li> <li>・ルネサンス：宗教改革の影響、フランスのシャンソン、イタリアのマドリガーレ, etc.</li> <li>・バロック時代：オペラの誕生、教会と宮廷の音楽、ラモー、ヴィヴァルディ、バッハ、ヘンデル, etc.</li> <li>・古典派：均整の美学、啓蒙主義の影響、ドイツ語圏の音楽家たち、フランス革命の音楽, etc.</li> </ul> <p>試験：与えられた文章の和訳(ディクテーションを含める場合もあります) フィードバック：試験の解答と解説を配布します</p>									
<b>[履修要件]</b>									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
<b>[成績評価の方法・観点]</b>									
期末試験(70%)および授業への参加度(30%)									
----- フランス語II A F2102(2)へ続く -----									

フランス語II A F2102(2)

**[教科書]**

使用しない  
プリント配布します。

**[参考書等]**

(参考書)  
授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

翌週読む分は、事前にならぬ読んでくること。

**[その他(オフィスアワー等)]**

**[主要授業科目(学部・学科名)]**